学校番号	２１４

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	美術Ⅱ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「高校生の美術２」　（日本文教出版）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・感じ取ったことから考える「絵画・彫刻」、目的や機能から考える「デザイン」、感じ取ったこと・目的や機能から考える「映像メディア表現」と「鑑賞」の分野について学習します。
・一人ひとり、思いや見方、感じ方が違います。表現形式の特性や形体・色彩などについて着目して、自分なりの感じ方や見方、表現を深めていきましょう。違った見方を「鑑賞」で共有すると、また更に広がったり深まったりします

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
対象や事象を捉える造形的な視点の理解を深め、意図に応じて表現方法を創意工夫ができるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】
造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどを考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。
【学びに向かう力、人間性等】
主体的に創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めている。 ・創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、意図に応じて表現方法を創意工夫し、表している。	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、美術の働きなどについて考えるとともに、主題を生成し発想や構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。	美術や美術文化と豊かに関わり主体的に表現及び鑑賞の創造活動に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
一学期	箔装飾×日本画	・江戸時代の絵画や琳派の特徴、垂らし込みの技法について学習。模写。 ・調べた作品を参考に図案を考える。 ・箔押しや砂子等の装飾を施し、アクリルガッシュで着彩。 ・振り返り　・鑑賞	a: 意図に応じて材料や用具の特性を生かし、創造的な表現をしている b: 材料の特徴を生かした構図や色彩、形などの構想を練っている c: 日本画の古典技法に関心を持ち、表現や鑑賞の活動に主体的に取り組んでいる	作品	ワークシート	ワークシート 制作態度
二学期	連続模様のナプキン	・生活を彩る連続模様や模様のデザイン方法について学習。 ・白布に二版でステンシルすることを前提に、連続模様のデザインを考える。 ・型紙を切り、布用絵具でステンシル ・振り返り・鑑賞	a:条件や材料の特性を理解し、意図に応じて表現を工夫し、美しく機能的にデザインできている b: 作者の意図や表現の工夫、よさや美しさなどを感じ取り、生活や社会を心豊かにする美術の働きや作品などついて理解を深めている c:形や色彩・構成などデザインの見方考え方を広げ、創造活動に主体的に取り組んでいる	作品	ワークシート	ワークシート 制作態度
	自我像	・過去作品や複数パターンの油絵制作過程を鑑賞し、イメージを膨らませる。 ・自分らしさが感じられる写真を元に、自身の感情や存在を色彩、マチエール、構成を工夫し油絵具で表現。 ・振り返り・鑑賞	a:画材の特性を理解し、意図に応じて色彩やマチエール、構図を工夫して表現している b: 作者の意図や表現の工夫、よさや美しさなどを感じ取り、生活や社会を心豊かにする美術の働きや作品などついて理解を深めている c: 自己を深く見つめ、形や色彩などの働きを考えながら構想を練ったり表現したりしようとしている	作品	ワークシート	ワークシート 制作態度

三学期	自我像	・自分らしさが感じられる写真を元に、自身の感情や存在を色彩、マチエール、構成を工夫し油絵具で表現。 ・振り返り・鑑賞	a:画材の特性を理解し、意図に応じて色彩やマチエール、構図を工夫して表現している b: 作者の意図や表現の工夫、よさや美しさなどを感じ取り、生活や社会を心豊かにする美術の働きや作品などついて理解を深めている c: 自己を深く見つめ、形や色彩などの働きを考えながら構想を練ったり表現したりしようとしている	作品	ワークシート	ワークシート 制作態度
	芸術祭	・事前準備、搬入搬出や会場当番など、生徒主体で展覧会の運営を行う。 ・他クラス・他学年の作品を鑑賞し、レポートにまとめる。	b,c:作者の意図や表現の工夫、様々な美術の特質、展示効果などを感じ取り、生活や社会と美術とのつながりや美術文化ついて理解を深めている		鑑賞レポート	鑑賞レポート 取り組み態度

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度